Japan Community Health care Organization SENDAI MINAMI Hospital

ジェイコー JCHO 仙台南病院

平成 29 年 12 月発行

登録医ニュース 絆きずな

登録医療機関（11 月現在）173 施設 196 名の先生方にご登録頂きました。

（病院理念）　本院は、地域社会における中核的な先進医療保健施設として地域医療の充実と国民保健の向上に貢献します。

（病院基本方針）急性期医療を担う地域の中核病院として、安全かつ良質な医療を行うために適切な説明と同意に基づいたチーム医療を推進します。

地域の医療・介護福祉施設と連携を図りながら高齢者にも対応できる幅広い医療を提供します。

個人情報は厳格に保護し、診療内容に関しては真実説明で対応します。

平成 29 年 11 月 11 日（土）に第２回ＪＣＨＯ健康まつりを開催いたしました。

ご　挨　拶　　院長　朝倉　徹

平素より登録医の皆様には当院が大変お世話になっております。ここにきて上空に寒気が流れ込み仙台でも一気に冬を感じるようになってまいりました。

当院は先日 JCHO 健康祭りを開催いたしました。昨年が最初の開催でしたが、100 名に満たない参加者でしたので、今年はコンテンツの充実と事前のアナウンスを心掛けたところ 400 名を超える地域住民の方々に参加していただくことができました。ただし想像を超える人数でしたので、若干の不手際があったことをお詫び申し上げます。

さて来年度は医療保険と介護保険の同時改定を迎えますが、内閣改造による予算の見直しにより、医療費の抑制は避けがたい情勢となっています。特に 2025 年問題と言われる超高齢化対策として介護予算の増加を抑える厳しい見直しが予想されます。当院附属の介護老健保健施設も、現在、厳しい経営状況にありますので、さらなる打撃になることを懸念しております。しかし在宅での介護を推し進める方針は維持、強化するものと予想されるので、当施設でも在宅復帰支援を看板に掲げる姿勢には変わりありません。

また当院では地域包括ケアシステムの取り掛かりとしてロコモフレイル外来を立ち上げました。「フレイル」とは高齢者が健康な状態から要介護にいたる中間の過程であり、介護予防の観点から注目されております。この地域でも地域包括支援センターなどで様々な介護予防の取り組みが始まっておりますが、少しでも役に立てることがあればということで、この外来を始めました。身体機能リハビリ、栄養相談、口腔ケアなどの分野でお手伝いさせていただいております。

最後にこれから忘年会など宴席も多くなることと思いますので、皆様どうぞ身体を案じて適量のアルコールを享受していただければと思います。

■ＪＣＨＯ仙台南病院　内科診療部長　原　右

診療科紹介　内科

連携医療機関の先生方におかれましては、いつも貴重な患者様をご紹介いただきありがとうございます。

JCHO 仙台南病院の内科診療は、消化器内視鏡を軸とした上下部消化管疾患、膵・胆道系疾患、および慢性肝炎や肝硬変・肝腫瘍等の肝疾患の診断・治療を得意としております。朝倉徹院長を筆頭に木村信明・原右・木皿典宏・佐々木公美子・宮澤輝子の６名に加え、今年から齋藤理恵・田母神裕之・大友泰裕ら若手３名が加わり、内科全般に対応することが可能となりました。午後外来も順調に稼働しております。

胃癌・大腸癌の診断・内視鏡処置はもとより、内視鏡的大腸ポリープ切除は昨年 147 例の実績がありました。総胆管結石切石術 30 例、胆道ステント留置術 26 例など胆道系に対する内視鏡治療も積極的に行っております。また肝疾患も従来のウイルス性肝炎からアルコールや NASH などの生活習慣に関連する肝硬変、更には肝癌が増加しております。内科治療は勿論ですが、外科治療も消化器外科スタッフが充実しており、消化管から肝胆膵手術まで迅速かつシームレスな治療を行えるのが当院の特徴と言えるでしょう。

糖尿病は高齢化に伴い、食事だけでなく、多様化する内服薬やインスリンの使い方に戸惑う患者様が増えておりますが、透析予防療養指導外来や教育入院の場において、当院自慢の療養士・栄養士・薬剤師など多職種による継続的な指導が効果を上げております。

高齢者疾患の代表格である誤嚥性肺炎の受け入れも増えてきました。内視鏡的胃瘻造設は昨年 29 例行いましたが、術前嚥下造影検査による嚥下機能の評価に、患者様を取り巻く環境を考慮しつつ、リスクの高い患者様でも QOL 改善を目指し施行しております。こうした高齢者に対する入院治療の次のステップには介護の問題が常に付きまといますが、当院では県内でも先駆的に開設した地域包括ケア病棟を活用し、介護環境がしっかり整備されるのを待ってから自宅や近隣の老健施設や当院附属老健に退院していただく、スムーズで患者様・家族様ともに負担の軽い医療介護連携を心がけております。

昨年は 1143 例の内科紹介、のべ 380 件の入院患者様を診療させていただきました。中田に移転して 20 年になりますが、当院の運営は連携の先生方に支えられていることを益々実感しております。小さな問題でも構いませんので医療介護サポートを相談したいときは、気軽に地域連携室までご一報ください。引き続き一層のご支援を宜しくお願い申し上げます。

前列左から

宮澤　輝子

朝倉　徹

大友　泰弘

佐々木　公美子

後列左から

齊藤　理恵

木皿　典弘

原　右

木村　信明

田母神　宏之

新任医師紹介

すぎさわ　のりひこ
杉沢　徳彦

平成 29 年より外科で勤務させて頂いております。消化器外科を専門としておりますが、これまでの経験を生かしながら地域医療にしっかりと貢献できるよう頑張って参ります。

【所属学会・資格等】日本外科学会（専門医）、日本消化器外科学会（消化器がん外科治療認定医、専門医、指導医）、日本がん治療認定医機構（認定医）、緩和ケア研修会修了、日本臨床外科学会、日本内視鏡外科学会、日本癌治療学会、日本胃癌学会など

ロコモフレイル外来について院長の講話

津軽三味線生演奏

沢山の来場者の方々にお越し頂きました

調剤体験（マーブル分包）

伊達武将隊の迫力の演技

手術室看護師体験

第２回　JCHO 仙台南病院　健康まつり

第２回　JCHO 仙台南病院健康祭りが、11 月 11 日（土）1F 外来ホールにて開催されました。当日は昨年を上回る 469 人の来場者で賑わい、患者さんやご家族、地域住民の皆さんとの交流を深めました。ステージでは院長のロコモフレイルについての講話や伊達武将隊の演舞、津軽三味線の生演奏などで大いに盛り上がりました。各ブースでは調剤体験、高齢者リハビリ（輪投げ）、手術室看護師体験、ＡＥＤほか機器の使用体験コーナー、骨密度測定検査、簡易ロコモチェック、眼底・眼圧検査などの無料測定コーナーなどを設け、お子様から高齢者の方々まで楽しんで頂けたのではないかと思います。

ロコモフレイル外来 はじまりました。

「ロコモフレイル外来」は、高齢者のお体の虚弱症状について多方面の専門家が協力・連携して行う画期的な総合診療システムです。

【診　察　日】：毎週金曜日（祝日を除く）

【診察受付時間】：13：00 から 15：00 まで

【担　当　医】：朝倉　徹　　（紹介状なしの場合は選定療養費¥1620 がかかります）

予約不要です。　　※詳細につきましてはホームページに掲載しておりますのでご覧下さい。

ＴＥＬ　022-306-1711(代)　　ロコモフレイル外来受付（内線 121）

認定看護師より

2015 年に認知症看護認定看護師の資格を取得し、２年が過ぎました。認知症は、進行を遅らせることはできますが、治ることはない進行性の病気です。認知症看護は、疾患の特徴や認知機能の低下からみられる生活障害をアセスメントし、今出来ることが続けられるように、生活歴や性格などを考慮し、どのような看護が必要か創造します。ケアを行なってみて効果がないこともありますし、効果がすぐに現れないこともあります。良かれと思って関わっても、患者さんに拒否されることもあります。

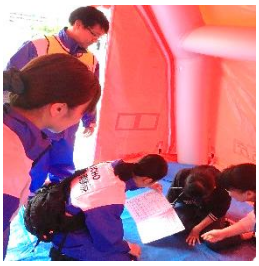
ケアする側のストレスマネジメントも大事です。当院では６月から認知症ケアチームによるケアを行なっています。認知症の人が少しでも笑顔になれるよう、穏やかに療養できるように、チームで環境や生活リズムの調整に取り組んでおります。

認知症看護認定看護師

藤井亜由美

防災 宮城県の 防災訓練 に参加しました。

平成 29 年９月２日（土）、イオンモール名取エアリ、名取市役所を会場に平成 29 年度の「9.1 宮城県総合防災訓練」が行われ、当院の医療チームが参加しました。訓練には佐藤学外科医長、小林加奈副看護師長、菅原恵里看護師、佐伯幸洋薬剤師、髙谷聡則経営企画係の５名で参加し、緑ポストでの傷病者応急救護訓練や災害対策本部との情報伝達訓練等を行いました。宮城県沖を震源とするマグニチュード 9.0 と推定される地震が発生し、名取市内では震度６強を観測。建物が倒壊し、住民が建物の中に取り残される状況。すぐに大津波警報が発令される想定の元で訓練が行われました。各病院の DMAT チーム、陸上自衛隊、宮城県広域消防応援団など 66 の機関が参加し、実践さながらの訓練となりました。



お知らせ　連携の集い開催について

平成 30 年 2 月 14 日(水)江陽グランドホテルにて連携の集いを予定しております。
詳細につきましては後日ご連絡させていただきます。

発行　独立行政法人　地域医療機能推進機構　仙台南病院
仙台市太白区中田町字前沖 143 番　代表ＴＥＬ022-306-1711・ＦＡＸ022-306-1712
地域医療連携室　直通　ＴＥＬ022-306-1740・ＦＡＸ022-306-1741